

にがうり

———— 発病・加害時期
 ===== 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
普通				▲ 定植					■ 収穫				
べと病													
斑点病													
うどんこ病													
炭疽病													
ミナミキイロアザミウマ													
アブラムシ類													
フキノメイガ(アズキノメイガ)													
ウリノメイガ(ワタヘリクロノメイガ)													
オオタバコガ													
ヨトウムシ類													
ハダニ類													

べと病

留意事項

- 1 高温、多湿を好み、露地栽培では雨が続くと多発する。
- 2 ダコニール1000、ダコニールアルファに含まれる成分TPNの総使用回数は、4回以内なので注意する。
- 3 アミスター20フロアブル、ストロビーフロアブルは薬害の恐れがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 4 QoI剤《1 1》は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 排水を良好にし、加湿を避ける。
- 2 被害茎葉を早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 肥効切れしないように肥培管理に注意する。
- 4 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 前日/4回】
 - ・ [ダコニールアルファ](#) <M5> 【2000倍 前日/4回】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 《1 1》 【2000倍 7日/3回】
 - ・ [ストロビーフロアブル](#) 《1 1》 【3000倍 7日/3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

斑点病

留意事項

- 1 多湿条件下で発生が多い。

防除方法

- 1 排水を良好にし、過湿を避ける。
- 2 被害茎葉を早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 チッソ質肥料の過用を避ける。
- 4 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 前日/4回】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【1500~2000倍 前日/5回】
 - ・ [スミブレンド水和剤](#) <2> <10> 【2000倍 7日/2回】

うどんこ病

留意事項

- 1 高温乾燥時に発病しやすい。また、生育後半に発病しやすい。
- 2 薬剤耐性菌が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- 3 ダコニール1000、ダコニールアルファに含まれる成分TPNの総使用回数は、4回以内なので注意する。
- 4 アミスター20フロアブルは薬害の恐れがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 5 QoI剤<<11>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 チッソ質肥料の多用、肥効切れを避ける。
- 2 被害葉を早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 前日/4回】
 - ・ [ダコニールアルファ](#) <M5> 【2000倍 前日/4回】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) <<11>> 【2000倍 7日/3回】
 - ・ [トリフミン水和剤](#) <3> 【3000倍 前日/3回】
 - ・ [ケンジャフロアブル](#) <<7>> 【1500倍 前日/4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

炭疽病（たんそびょう）

留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、薬害の恐れがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 2 QoI剤《11》は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 排水を良好にする。
- 3 わらまたはポリフィルムなどでマルチングする。
- 4 チッソ質肥料の過用を避ける。
- 5 支柱についている古い葉や、巻きひげが発生源になるので除去する。
- 6 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 前日/4回】
- 7 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【1500～2000倍 前日/5回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 《11》 【2000倍 7日/3回】

ミナミキイロアザミウマ

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 ほ場周辺の除草を行う。
- 2 うね面をポリフィルム等でマルチングし、土中で蛹化するのを防ぐ。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [カスケード乳剤](#) <15> 【アザミウマ類 2000～4000倍 前日/4回】
 - ・ [ダントツ水溶剤](#) <4A> 【2000～4000倍 前日/3回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <13> 【2000倍 前日/2回】
 - ・ [ハチハチ乳剤](#) 劇 <21A> 【アザミウマ類 1000倍 前日/2回】

アブラムシ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 露地栽培では、シルバーポリフィルムでマルチングする。
- 2 施設では、開口部に寒冷しゃを張り、侵入を防止する。
- 3 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ダントツ粒剤](#) <4 A> 【1~2g/株 植穴処理土壌混和 定植時/1回】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4 A> 【4000倍 前日/3回】
 - ・ [トレボン乳剤](#) <3 A> 【1000倍 前日/3回】
 - ・ [コルト顆粒水和剤](#) <9 B> 【4000倍 前日/3回】
 - ・ [ウララDF](#) <2 9> 【2000~4000倍 前日/2回】

フキノメイガ（アズキノメイガ）**防除方法**

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【2000~3000倍 前日/3回】

ウリノメイガ（ワタヘリクロノメイガ）**留意事項**

- 1 幼虫は葉をつづり合わせ、その中で食害する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) <3 A> 【1000倍 前日/3回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) <1 5> 【2000~4000倍 前日/4回】
 - ・ [フェニックス顆粒水和剤](#) <2 8> 【2000~4000倍 前日/3回】
 - ・ [プレオフロアブル](#) <UN> 【1000倍 前日/2回】
 - ・ [BT剤](#) <1 1 A> （IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

オオタバコガ**防除方法**

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフーム乳剤](#) <6> 【2000倍 3日/2回】
 - ・ [BT剤](#) <1 1 A> （IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

ヨトウムシ類**防除方法**

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [トレボン乳剤](#) <3 A> 【1000倍 前日/3回】
- ・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【2000~3000倍 前日/3回】
- ・ [フェニックス顆粒水和剤](#) <2 8> 【ハスモンヨトウ 2000~4000倍 前日/3回】
- ・ [プレオフロアブル](#) <UN> 【ハスモンヨトウ 1000倍 前日/2回】
- ・ [BT剤](#) <1 1 A> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

ハダニ類

留意事項

- 1 高温時に発生が多い。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ダニトロンフロアブル](#) <2 1 A> 【2000倍 3日/1回】
 - ・ [ニッソラン水和剤](#) <1 0 A> 【2000~3000倍 前日/2回】
 - ・ [サフオイル乳剤](#) <->
 - 【野菜類（除いちご、トマト、ミニトマト）300~500倍 前日/ー】
 - ・ [サンヨール](#) <-> 【500倍 前日/4回】

ネコブセンチュウ

防除方法

- 1 本ぽを土壤消毒する。(XⅢ土壤消毒 参照)
 - ・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 <8 F>
 - 【20~30kg/10a 均一に散布して土壤と混和する は種または定植21日前/1回】
- 2 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ネマトリンエース粒剤](#) <1 B>
 - 【15~20kg/10a 全面土壤混和 は種前または定植前/1回】
 - ・ [ネマキック粒剤](#) <1 B> 【20kg/10a 全面土壤混和 定植前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。